



ねや川戎

1 住吉神社「ねや川戎」ねやがわえびす

新寝屋川八景

住吉神社は、古来三社大明神といい、住吉神社・春日神社・戎大神を合わせて祀り、木田地区の氏神となっていました。もとは現在の木田元宮1丁目付近にありましたが、江戸時代に現在の社地に遷ったと伝えられています。現在は「ねや川戎」の神社として親しまれ、北河内地域随一の戎神社です。毎年1月9～11日の戎祭には、市内だけではなく市外からも多くの参詣者で大変な賑わいを見せており、平成21年1月には**新寝屋川八景**にも選ばれました。



2 伏越樋 ふせこしひ

伏越樋とはサイフォンの原理を応用して、川底を潜って用水を送る装置です。寝屋川が天井川となって直接取水することが困難になり、木田村では寝屋川を西側の流れる二十箇用水から村の生活用水や農業用水を取り入れることになりました。水路と村の間には寝屋川が流れており、水を得るためには寝屋川の下を潜る伏越樋を設置しなくてはなりません。江戸時代に樋の設置工事が行われ、この難工事にあった当時の庄屋の名前を付けて、この伏越樋は「久左衛門樋」と呼ばれています。樋の完成により木田村では十分な水が確保され、村中を縦横に配置された水路を利用した舟運が発達しました。



3 伝・秦刀鍛冶屋敷跡 伝・はたかたなかじやしきあと

鎌倉時代に後鳥羽上皇が全国の名工に刀を造らせました。その中にこの地の出身である秦行国(行綱)と呼ばれる人物がいたとされます。秦地区には「鍛冶屋垣内」「献刀谷」という刀鍛冶に関連した小字(地名)が残っており、このあたりが刀鍛冶の屋敷があった場所と伝えられています。かつてこの一角にあった井戸は、この刀鍛冶が使用したものとされていました。



4 熱田神社 あつたじんじゃ (太秦廃寺跡)

太秦地区の氏神で、祭神は日本武尊です。入口の鳥居は享保8年(1722)の銘があり、江戸時代に建てられたものです。境内からは古瓦が出土しており、また、建物の柱の下に据えた礎石と思われる巨石が認められたため、付近に古代寺院(太秦廃寺跡)があったと考えられています。付近では杜鹿の埴輪の頭部(市指定文化財)が出土しており、太秦古墳群と関係する古墳があったと考えられます。



鹿の埴輪

5 打上川治水緑地 うちあげがわちすいりよくち

寝屋川と打上川が合流する地点に設置された、面積13.3haの治水公園です。大雨で氾濫の恐れが出た時には、寝屋川や打上川の水を引き込んで一時的に溜めておく遊水池となります。遊歩道や植樹が行われて、普段は緑地公園として市民の憩いの場となっており、中央の池には冬にはカモなどの渡り鳥が飛来し、野鳥観察のスポットともなっています。



6 伝・秦河勝の墓 伝・はたかわかつのはか

寝屋川右岸の秦山と呼ばれた丘陵上に所在し、現在、巨大な五輪塔が建てられています。五輪塔の地輪(最下段の石)の4面には、秦河勝の事跡や五輪塔を建てた経緯が刻まれています。それによると、現在の五輪塔は慶安2年(1649)に再建されたものであることがわかります。秦河勝は渡来系氏族である秦氏の出身で、聖徳太子の補佐として6～7世紀に活躍したと伝えられています。平成9年に**市指定史跡**となりました。



7 春日神社 (スタジイの社叢) スタジイのしゃそう

国松に所在する春日神社には、社殿の周囲にシイの大樹が群生していました。そのうち神社東側の池端にあるものは、幹を池側に大きく張り出しており、立派な樹形です。人里の近くにスタジイの巨木が群生することは珍しく、昭和56年(1981)に**府指定天然記念物**に指定されました。



8 国松の弘法井戸 くにまつこうぼういど

国松地区の丘陵裾に、覆屋が設けられ「弘法井戸」と札のかかった井戸があります。江戸時代に出版された『河内名所図会』に、この地域の3か所の名水(井戸)が紹介されていますが、「ニツ井は国松村にあり」と記されており、ニツ井がこの井戸であったと考えられています。



9 千種庄右衛門の碑 ちくさしょうえものひ

国松地区の悪水は寝屋川と南前川の合流地点付近で寝屋川へ流れていましたが、川床が土砂で高くなるにつれ、悪水の排水が悪くなり、雨が降り続けると逆流して領内が冠水するという状態でした。そのため、千種庄右衛門という代官が人々の苦しみをみかね、川床をくぐる伏越樋(ふせこしひ)をつくり、悪水路に悪水を落とし、人々を救ったという伝承が残されています。



10 幸町公園 さいわいちょうこうえん

平成21年4月にオープンした親水公園です。警官住宅の建替および整備工事に伴って、幸町の寝屋川右岸に建設されました。人工のわんどやみんなの広場、緑の広場が設けられ、サクラ・イチヨウ・モミジが植樹されています。



11 八坂神社 やさかじんじゃ

八坂神社の創建を伝える資料は確認されていませんが、明治時代以前、牛頭(ごず)天王社や祇園社などと呼ばれていました。境内には市の保存樹であるクスノキが15本あります。最も大きなもので高さ15m・幹回りは4.83mを測り、樹齢約650年と推定されています。



道順や各所の詳細については寝屋川市のホームページをご覧ください。
(右側のQRコードからアクセスできます)

※QRコードは駒デンソーウェアの登録商標です。



■距離：約7km ■所要時間：約2.5時間

★見どころ★ 春日神社のスタジイの社叢は大府の天然記念物に指定されています。また、八坂神社のクスノキは樹齢500年以上のものもあり、15本が市の保存樹に指定されています。これらをつなぐ散策コースでは歴史的な文化資源が点在しており、歴史と共に成長した大樹は、いまなお、青々と茂り、私たちの生活を見守っています。

スタート：京阪寝屋川市駅 (東口)

0.3km / 5分 ※距離・所要時間は目安です。

1 住吉神社 (ねや川戎) 新寝屋川八景

0.3km / 5分

2 伏越樋

2km / 34分

3 伝・秦刀鍛冶屋敷跡

0.7km / 12分

4 熱田神社

0.4km / 7分

5 打上川治水緑地

0.8km / 14分 ★休憩 ベンチ・WCあり

6 伝・秦河勝の墓 ◆市指定史跡

0.25km / 5分

7 春日神社 ◆府指定天然記念物：スタジイの社叢

0.3km / 5分

8 国松の弘法井戸

0.8km / 14分

9 千種庄右衛門の碑

0.4km / 7分

10 幸町公園 ★休憩 ベンチあり

0.9km / 15分

11 八坂神社

0.4km / 7分

ゴール：京阪寝屋川市駅 (東口)

※掲載内容は、2024年4月時点のものです。